

北風と太陽

香芝市立香芝北中学校通信

NO.41 2025.2.5 文責 上谷基博

気持ちも時間もゆとりを持とう！

2月に入りました。寒さも本格的です。最強寒波到来らしいです。今朝の校門でのあいさつ、指先が凍るんじゃないかって思いました。

今週に入り欠席する人が増えています。3年生は入試前ということで、登校を控えている人もいるのかもしれませんが。今こそ「しっかり食べ、しっかり動き、しっかり寝る！」当日自分の持っている力を最大限発揮するためにも、この基本を大切にしてください。



朝の登校の様子を見ていて感じることを書きますね。職員朝礼が終わり、8時22分あたりから生徒昇降口であいさつをしています。8時23分に「あと2分だよ！」ってことを知らせる音楽が流れます。それを聞いて3年生が20人ぐらいがやや足早に入ってきます。で、一端人の流れがとぎれます。これで登校完了だったらOKですが・・・。

3年生担当の先生が昇降口から外に出て、大きな声で「急ぎなさい！」と。するとぞろぞろと10人ぐらいが歩いて入ってきます。ほぼ同時に8時25分のチャイムが鳴っています。

4月からの新生活、電車等の交通機関を利用して通学する人が多いと思います。電車は「急げ！」と声をかけてくれません。無情にも目の前でドアが閉まるなんてことは普通です。1本乗り遅れると結果が大きく変わることもあるでしょう。大きな声で「急ぎなさい！」と言うのをやめてもらおうかと思っています。その方がみんなのためになるんじゃないかと思います。

ここ1週間を振り返ってみます。

<特別支援学級合同学習会 1月28日(火)>

志都美小学校、旭ヶ丘小学校、そして本校の特別支援学級のみなさんが本校体育館に一同に会しました。本校体育大会でもおなじみの『ウーバー北中』等のゲームではかしの木学級のみながリーダーシップを発揮してくれていました。最後に両小学校の6年生とかしの木学級の3年生が順番に4月からの進路先(予定も含む)をしっかりと話してくれました。さらに後輩達から手作りの記念品が贈られていました。



予測困難な時代をたくましく生き抜き、よりよい社会の創り手となる生徒の育成

<疑似体験学習 1月29日(水)>

1年生で障がい者・高齢者疑似体験が行われました。毎年本校で実施されている取組です。今回上谷は全く参加していませんので、生徒の感想文からピックアップ！

①車椅子体験

- ・マットの段差でビックとも動きませんでした。
- ・段差などで座っている状態で傾けられるのがとても怖く、自分でペースメイク出来ないのが怖かった。
- ・車椅子に乗っている時に会話しながらだと安心できた。



②高齢者体験

- ・祖母の足が不自由で手伝ったりしたことがあり、その時は「大変だな」と思っただけで人ごとだったけど、体験で祖母の辛さが分かり、何かあったら手伝ってあげたい。



③アイマスク体験

- ・相手に「怖い」と思う気持ちを持たせてしまった。
- ・「あともうちょっと行ったら階段」とか「右曲がるよ」とかのかけ声や手をつないでくれたりしてもらいめっちゃ安心しました。

<香芝市英語教育研究会授業研究 1月31日(金)>



2年2組で公開授業が行われました。当日は市内中学校の英語科の先生が来校され、授業を参観されました。「受け身の文を使って相手が欲するような秘密道具を紹介することができる」が授業のGOAL(めあて)でした。「秘密道具？」って思いましたが、最初のクイズで「ドラえもん のタケコプターみたいなのか！」って分かりました。クイズの時間帯は

日本語一切なしのオールEnglish! スゲーっ! ペアになって得意なこと、得意でないこと、好きなもの、嫌いなもの、やりたいこと等情報を聞き出し、それを踏まえて、相手のために秘密道具をPCを使いロイロノートで考案します。最後に画面をペアに見せながら、受け身形を使って説明します。秘密道具の考案に時間がかかってしまい、最後のプレゼンの時間が少し短かったのがちょっぴり残念でしたが、英語を使ってイキイキ活動する姿にとっても感動しました。他校の先生方からも高い評価を得ました。夕方教育委員会に行くと、授業のことがさっそく伝わってましたよ！

